

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第28週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (28 週までに新たに届出のあったもの)

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 5 例。3 類感染症：報告なし。4 類感染症：報告なし。
5 類感染症：ウイルス性肝炎 1 例、破傷風 2 例。

	疾患名	報告 保健所	年齢群	性別	病型	症状 等
2類	結核	宮崎市	70 歳代	男	無症状病原体保有者	—
			80 歳代	女	肺結核	咳、発熱
		都城	40 歳代	女	無症状病原体保有者	—
		小林	80 歳代	女	結核性胸膜炎	発熱、胸痛、呼吸困難
		高鍋	80 歳代	男	肺結核	症状なし
5類	ウイルス性肝炎	宮崎市	30 歳代	女	C型	肝機能異常、黄疸 ワクチン接種歴なし
	破傷風	宮崎市	40 歳代	男	—	筋肉のこわばり、開口障害、嚥下障害等 ワクチン接種歴：不明
			60 歳代	男	—	筋肉のこわばり、開口障害、嚥下障害、発語障害 ワクチン接種歴：不明

《前週との比較》

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 1,177 人 (定点当たり 34.9) で、前週比 106%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は感染性胃腸炎とヘルパンギーナで、減少した主な疾患はインフルエンザと A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎である。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

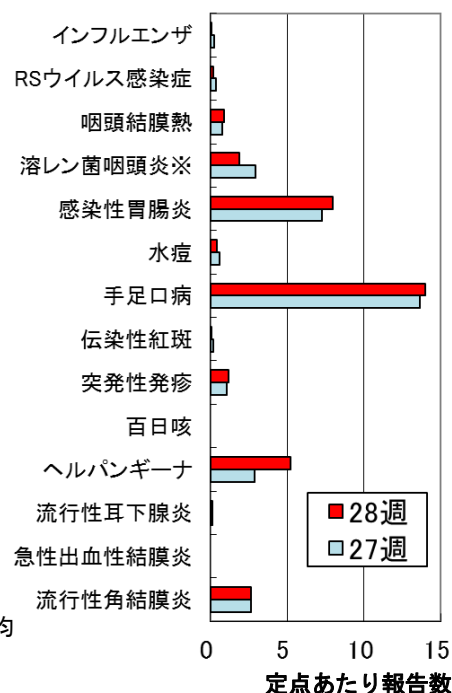
【手足口病】

報告数は 504 人 (14.0) で、前週比 103%とほぼ横ばいであるが、例年同時期の定点当たり平均値* (4.3) の約 3.3 倍である。日南 (27.0)、小林 (25.7)、日向 (20.8) 保健所からの報告が多く、年齢別は 1～2 歳が全体の約 6 割を占めた。

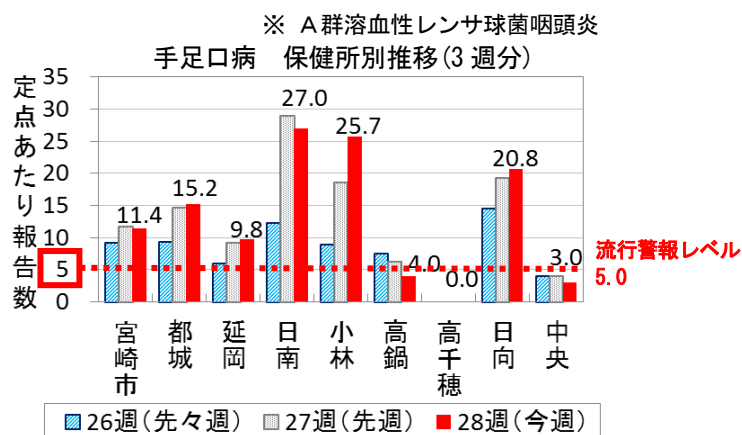
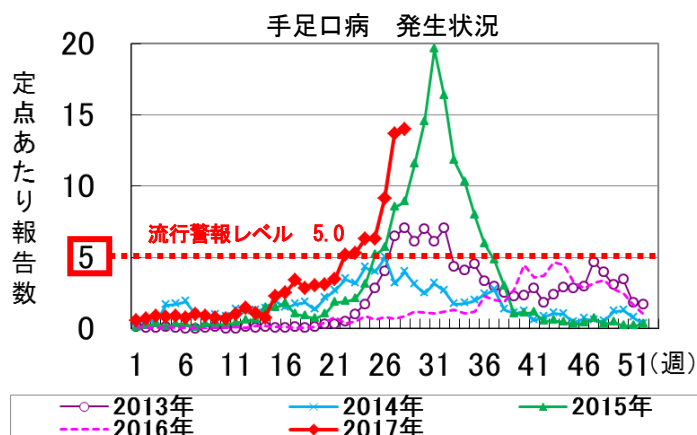
【ヘルパンギーナ】

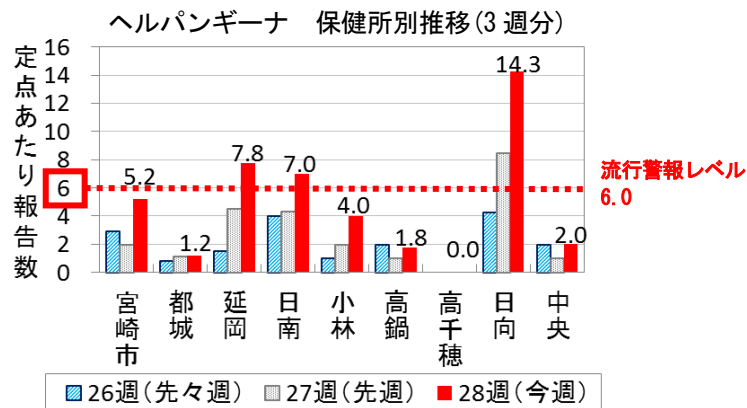
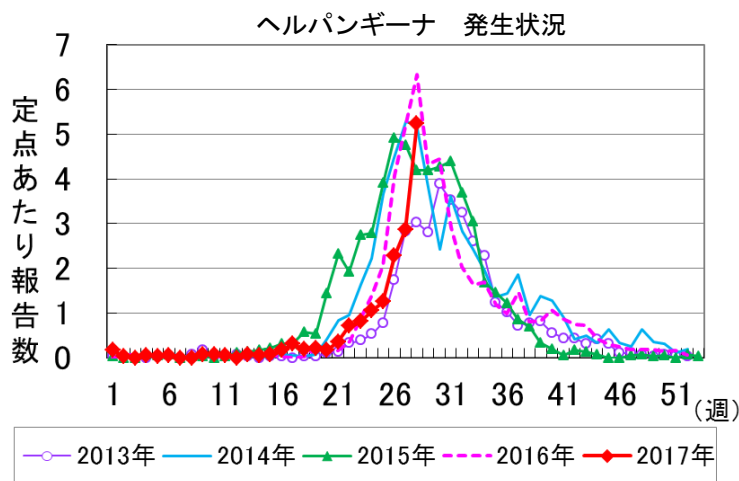
報告数は 189 人 (5.3) で、前週比 183%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値* (5.3) のほぼ同率である。日向 (14.3)、延岡 (7.8)、日南 (7.0) 保健所からの報告が多く、年齢別は 1～2 歳が全体の約半数を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均



定点あたり報告数





★基幹定点からの報告★

報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	手足口病(11.4)
都城	手足口病(15.2)
延岡	手足口病(9.8)、ヘルパンギーナ(7.8)
日南	咽頭結膜熱(4.3)、手足口病(27.0)、ヘルパンギーナ(7.0)
小林	手足口病(25.7)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	手足口病(20.8)、ヘルパンギーナ(14.3)
中央	なし

＊流行警報レベル開始基準値＊

- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・手足口病(5.0)
- ・ヘルパンギーナ(6.0)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 平成 29 年 7 月 18 日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Salmonella</i> Thompson(O7:k:1,5)	5～9歳	女	2017.06.28	—	便	2017.07.04
<i>Salmonella</i> Braenderup (O7:e,h:e,n,z15)	5～9歳	男	2017.06.28	—	便	2017.07.06
EAggEC(O86a:HNМ)	0～4歳	男	2017.06.28	—	便	2017.07.09
<i>Salmonella</i> Singapore (O7:k:e,n,x)	10歳代	女	2017.07.06	—	便	2017.07.14

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取日	臨床症状	材料
ライノウイルス	0～4歳	女	2017.06.23	ウイルス性発疹、上気道炎、発疹	咽頭ぬぐい液
ライノウイルス	0～4歳	女	2017.06.28	急性細気管支炎、38.0℃、上気道炎、下気道炎	鼻汁
ライノウイルス	0～4歳	男	2017.07.01	クroup症候群、呼吸不全、37.8℃、上気道炎、下気道炎、犬吠様咳嗽、喘鳴	咽頭ぬぐい液
ライノウイルス	0～4歳	男	2017.07.01	細気管支炎、38.9℃	咽頭ぬぐい液
ライノウイルス	30歳代	男	2017.07.08	麻疹疑い、発熱、発疹	咽頭ぬぐい液
ライノウイルス	0～4歳	男	2017.05.17	エンテロウイルス発疹疑い、上気道炎、発疹	咽頭ぬぐい液
パラインフルエンザウイルス3型	0～4歳	男	2017.06.29	集団かぜ、39.6℃、気管支炎、咳、眼脂	咽頭ぬぐい液
ノロウイルスGⅡ	0～4歳	男	2017.05.27	細菌性腸炎疑い、38.0℃、胃腸炎(下痢・嘔気・嘔吐)	便
ヒトヘルペスウイルス6	10歳代	男	2017.04.15	急性心膜炎、循環器障害(心膜炎)	咽頭ぬぐい液

○6名からライノウイルスが検出された。一般的にライノウイルスは小児から高齢者まで幅広い年齢層で上気道炎や下気道炎を起こすことが知られているが、今回6名中3名は発疹を呈していた。これまでライノウイルス単独もしくは他のウイルスとの混合感染事例で、発疹を呈する場合は報告されており、伝染性紅斑や不明発疹症と診断された患者検体からライノウイルスが検出された例もある。全国的にも7月以降ライノウイルスが検出されていることから症状だけでなく、今後の発生動向にも注意していく必要がある。

全国 2017 年第 27 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 27 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	320 例				
3類感染症	コレラ	1 例	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	71 例
	腸チフス	1 例	パラチフス	1 例		
4類感染症	E型肝炎	2 例	A型肝炎	3 例	エキノкокクス症	1 例
	回帰熱	1 例	重症熱性血小板減少症候群	4 例	チクングニア熱	1 例
	つつが虫病	1 例	デング熱	4 例	日本紅斑熱	7 例
	ボツリヌス症	1 例	ライム病	2 例	レジオネラ症	41 例
5類感染症	アメーバ赤痢	12 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	27 例
	急性脳炎	10 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4 例
	後天性免疫不全症候群	17 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	20 例	水痘（入院例）	6 例	梅毒	81 例
	播種性クリプトкокクス症	1 例	破傷風	3 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	3 例
	風しん	2 例	麻疹	2 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 110%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナで、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎である。

手足口病の報告数は 18,151 人(5.7)で前週比 163%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値* (2.6) の約 2.2 倍である。高知県(19.1)、鳥取県(14.8)、滋賀県(13.7)からの報告が多く、年齢別では 1～2 歳が全体の約 6 割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は 4,754 人(1.5)で前週比 161%と増加したが、例年同時期の定点当たり平均値* (2.6) の約 0.6 倍である。福岡県(5.4)、佐賀県(5.2)、大分県(5.1)からの報告が多く、年齢別では 1～2 歳が全体の約半数を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均値

月報告対象疾患の発生動向 <2017年6月>

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は40人(3.1)で、前月比121%と増加した。また、昨年6月(2.8)の111%である。

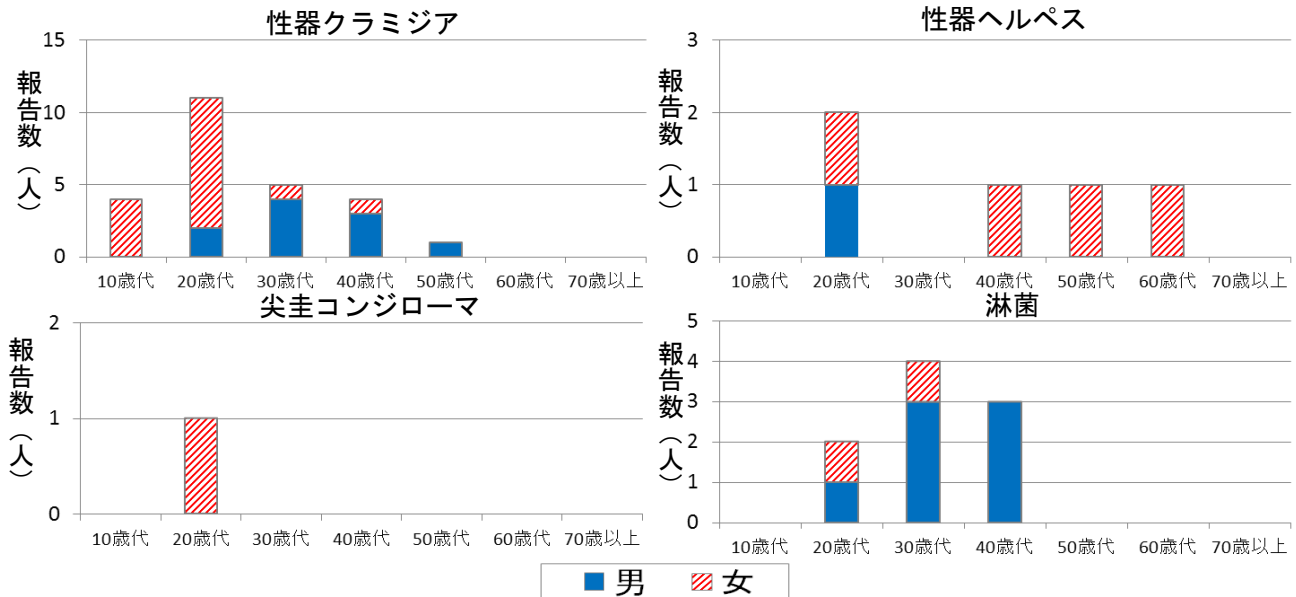
《疾患別》

○性器クラミジア感染症：報告数25人(1.9)で、前月及び昨年6月の約1.3倍である。20歳代が全体の約4割を占めた。(男性10人・女性15人)

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数5人(0.38)で、前月の約1.7倍、昨年6月の1.0倍である。(男性1人、女性4人)

○尖圭コンジローマ：報告数1人(0.08)で、前月の0.5倍、昨年6月の約0.3倍である。(女性1人)

○淋菌感染症：報告数9人(0.69)で、前月及び昨年6月の約1.1倍である。(男性7人、女性2人)



【全国】 定点医療機関総数：985

定点医療機関からの報告総数は4,161人(4.2)で、前月比100%と横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,180人(2.2)で前月比100%、性器ヘルペスウイルス感染症850人(0.86)で前月比100%、尖圭コンジローマ481人(0.49)で前月比98%、淋菌感染症650人(0.66)で前月比103%である。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は21人(3.0)で前月比100%と横ばいであった。また昨年6月(3.4)の約0.9倍である。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数20人(2.9)で、前月の1.0倍、昨年6月の約0.8倍である。70歳以上が全体の約6割を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数1人(0.14)で、前月の1.0倍である。年齢は70歳以上である。(昨年6月報告なし。)

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】 定点医療機関総数：475

定点医療機関からの報告総数は1,556人(3.3)で、前月比100%と横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,385人(2.9)で前月比102%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症158人(0.33)で前月比81%、薬剤耐性緑膿菌感染症13人(0.03)で前月比300%である。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2017年 第28週(7月10日～7月16日)

疾病名		第27週	第28週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	14	3		2		1					
	定点あたり	0.24	0.05	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	13	8	2	2		1		3			
	定点あたり	0.36	0.22	0.20	0.33	0.00	0.33	0.00	0.75	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	28	33	6	6	4	13	2	1		1	
	定点あたり	0.78	0.92	0.60	1.00	1.00	4.33	0.67	0.25	0.00	0.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	107	69	29	9	9	5	1	2		12	2
	定点あたり	2.97	1.92	2.90	1.50	2.25	1.67	0.33	0.50	0.00	3.00	2.00
感染性胃腸炎	報告数	261	287	65	52	19	55	35	16	9	26	10
	定点あたり	7.25	7.97	6.50	8.67	4.75	18.33	11.67	4.00	9.00	6.50	10.00
水痘	報告数	22	15	8		4		2	1			
	定点あたり	0.61	0.42	0.80	0.00	1.00	0.00	0.67	0.25	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	491	504	114	91	39	81	77	16		83	3
	定点あたり	13.64	14.00	11.40	15.17	9.75	27.00	25.67	4.00	0.00	20.75	3.00
伝染性紅斑	報告数	8	4			3					1	
	定点あたり	0.22	0.11	0.00	0.00	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
突発性発しん	報告数	38	44	11	7	7	8	4	2	1	4	
	定点あたり	1.06	1.22	1.10	1.17	1.75	2.67	1.33	0.50	1.00	1.00	0.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	103	189	52	7	31	21	12	7		57	2
	定点あたり	2.86	5.25	5.20	1.17	7.75	7.00	4.00	1.75	0.00	14.25	2.00
流行性耳下腺炎	報告数	5	5	1							4	
	定点あたり	0.14	0.14	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	16	16	14	2							
	定点あたり	2.67	2.67	4.67	1.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数

下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2017年第1週～28週)

2類感染症	結核	107例(5)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	5例				
4類感染症	E型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	7例	つつが虫病	6例
	日本紅斑熱	2例	レジオネラ症	3例		
5類感染症	ウイルス性肝炎	2例(1)	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	7例	急性脳炎	3例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例	後天性免疫不全症候群	5例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	13例	水痘(入院例)	1例
	梅毒	8例	破傷風	4例(2)	麻しん	1例

()内は今週届出分、再掲